

石垣市観光開発審議会（平成27年度第1回）

平成27年5月22日（金）

午前10時-正午

石垣市役所2階第1会議室

会 次 第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. あいさつ 石垣市長 中山 義隆
4. 会長及び副会長の選出
5. 『観光の未来を考える観光動態調査』の結果報告
（株）リクルートライフスタイル沖縄
代表取締役社長 武田 寛枝 様
6. 観光施策及び観光事業について、建議及び評価
『観光施策の年次レポート2014-2015』
7. 閉会

〈配布資料〉

- ①会次第（本紙）
- ②石垣市観光開発審議会名簿及び規則（両面印刷）
- ③観光施策の年次レポート2014-2015
- ④石垣市観光基本計画
- ⑤観光の未来を考える観光動態調査概要版

石垣市観光開発審議会委員名簿

任期：自 平成27年5月22日

至 平成29年5月21日

(50音順・敬称略)

No.	氏名	職名	所 属	備考	新規/再任
1	赤城 陽子	取締役支配人	ビーチホテルサンシャイン	関係団体の代表者	再任
2	安谷屋 正和	会長	八重山ダイビング協会	関係団体の代表者	新規
3	請盛 真実	支部長	沖縄県ハイヤー・タクシー協会 八重山支部	関係団体の代表者	新規
4	浦内 由美子	女性部長	石垣市商工会	関係団体の代表者	再任
5	大得 英信	局長	石垣市企画部観光文化スポーツ局	市の職員	再任
6	奥平 まゆみ	代表取締役	平田観光(株)	関係団体の代表者	再任
7	我喜屋 隆	会長	八重山産業ネットワーク	関係団体の代表者	再任
8	久場島 清俊	常務取締役	東運輸(株)	関係団体の代表者	新規
9	高嶺 良晴	会長	石垣市観光交流協会	関係団体の代表者	新規
10	武田 寛枝	代表取締役社長	(株)リクルートライフスタイル沖縄	学識経験者	再任
11	當真 政光	部長	石垣市企画部	市の職員	新規
12	成底 正好	委員長	石垣島田舎体験プロジェクト 実行委員会	関係団体の代表者	新規
13	山内 昌一郎	青年部長	石垣市観光交流協会	関係団体の代表者	再任
14	吉田 貴紀	副理事長	八重山青年会議所	関係団体の代表者	新規

石垣市観光開発審議会（平成27年度第1回）

会議録

日時：平成27年5月22日（金）午前10時～正午

場所：石垣市役所2階第1会議室

■『観光の未来を考える観光動態調査』の報告（武田寛枝委員）

※ホームページ内別掲『観光の未来を考える観光動態調査報告書』をご参照下さい。

（概況）

- ・観光客数の推移が120万人時代に突入しております。
- ・飛行機で来なければいけないのに120万人はすごい。
- ・首都圏から来ることが多い、パッケージ旅行が多い、2泊3泊が多い。
- ・石垣は元々長期滞在が多い、石垣市の成長は沖縄県を越えている。
- ・奄美大島が30万人、佐渡島50万人。
- ・石垣島がひとつの大きな観光地。
- ・最初から石垣島に行く事を決めている人が多い。ブランド力がすごい。
- ・石垣には観光資源としていいものが沢山ある。
- ・満足度調査は、じゃらん宿泊旅行調査から抜粋。

全国平均 84% 沖縄県全体平均 91% 石垣島だけで 94%、おそらく日本中で一番満足度の高い島。

- ・消費額：100,000円以上、総じて高い消費額である。

（ヒアリング）

- ・インターネットによる調査（首都圏、関西、九州 年齢20歳～69歳男女）

調査期間が1月12日～16日

配信数が164,901の内20,000件の回答があった。

- ・基本調査はそこから選んだ方々にもう一度やっていただくという形にしまして配信数1985に対して1045の回答が得られました。

（WEB調査の結果）

- ・石垣島に来た事はあるのは約1割。
- ・女性より男性がやや多い。
- ・石垣島に来た事はある人は9割方、沖縄本島に来島しています。
- ・お越しになった人の1割は本島に行った事はないけど石垣島に行った事はある
- ・島に来た事がある人は10.8%

・リピート理由の約9割、つまり『石垣島をリピートしたい』が約90%
未経験者の約3人に1人が石垣島に行きたいですよと言っています。
なので、今現時点でのブランド力は非常に高い。

(一方で来た事がない人の来てない理由)

・旅行費用が高い、日数が長くなるので来られない。

(来島の関心)

・来島理由=癒し、自然、異国情緒、時間を忘れてのんびりしたい(癒しを求める人が多い)

・興味が高いもの=自然・食事・体験

・興味はないもの=伝統文化・行事・イベント(大概知られていない)

・女性だけの観点で見ると=星空観察、サンセット、イルカとふれあい、リゾートホテル
体験の興味が深い。マングローブや八重山料理は知っているし興味もある。

(観光資源について)

・石垣島に行ったことのある人は何をしたか=八重山料理、離島ツアー、川平湾、マング
ローブ、リゾートホテル、宮良川のマングローブ

・今後もリラックスできる島であってほしい。

・リピータとしては新しいコンテンツ(水族館・プラネタリウムなど)もほしいという意
見もあった。

(実際に施設でアンケート取ってみた(2月~3月))

・石垣島への来島経験は初めてが7割を超えた。

・一人で来られる方が割りと多い。

・来訪理由:特定の観光地、観光スポットに興味があったから。気候がよさそうだから・・・
丁度、本土が寒い時期で石垣島が暖かそうだから。

・最初から石垣島に来ると決めていた方が多かった。

(何を見て石垣島の事を知りましたか)

・石垣島に関しては旅行ガイドブックが多い

(石垣島に来た目的)

・川平湾見学、旅行ツアー体験、シュノーケル、ダイビング、離島ツアー、星空ツアー等
(期待値は低かったが意外と良かったこと)

・サイクリング、民謡酒場

■観光施策及び観光事業についての意見

委員：平成 22 年度の観光基本計画に具体的な施策というものが書いてあります。その平成 22 年度から新空港が開港するまでの間の検証や今年から行う施策に効果のある検証、マーケットの絞込みが県や他の市で行われていますけど石垣市のほうではまだ行われていません。マーケットにかかるターゲット絞込みですとか観光関連に関して、もうちょっと掘り下げてほしい。

委員：（観光の未来を考える観光動態調査の内容について）旅行形態で団体旅行の割合が 8.5%は少なくないですか？

回答：団体旅行なのにパッケージの旅行やフリープランと回答した可能性がある。

委員：（同調査報告書）P23 を見ると繁忙期と閑散期がだいぶばらけている。同じ宿泊施設の中でもシティー系でこれだけ繁盛しているのにリゾート系が繁盛している感じがしない。ホテルに関してですがこの統計とかけ離れている感じがする。

回答：ホテルに関してはコメントしがたい。2・3 月は繁忙期だろうといえるのではないか。

事務局：観光客数はこれまで右肩上がり伸びてきているが、課題や改善点が残っている。観光基本計画策定から 5 年、観光施策の年次レポートを元に説明&評価を頂きたい。

委員：自然環境保全に関してですが「保全や共生」から「保全および再生」という文言に変更してはどうですか。赤土流出が後 5 年続けば海の自然はなくなりエコツアーが出来なくなってしまう。

委員：新空港開港に向けたキャンペーンを行政、団体や他の企業と取り組めた事がすごく有意義だった。開港後も一緒に活動できるようにしてほしい。誘客の取りみは引き続きお願いしたい。

委員：クルーズ船（アクエリアス号）が月曜日と木曜日で寄航している。バースがまだないので雨天時に係る整備については、降りてくるお客さんは水溜りを歩いてきているので整備的には不十分。

委員：雇用について、地方に行って「石垣島で働きませんか。」と募集してもいいですか。このまま入域観光客数が増えると、きちんとした対応が出来なくなりリピータに繋がらな

い事を危惧しています。国際的な観光にしたいのであれば、今の内に台湾へのインターシップ等はしたほうが良い。

委員：専門学校誘致などの対策はありますか。

事務局：教育委員会が専門学校大学の誘致の可能性を調査している。教育委員会と企画政策課が連携して行う予定はある。必要性の認識はしています。台北教育大学が提携しており、台北教育大学を卒業して活躍している人もいます。

委員：観光人材育成事業は進捗ないですか。

事務局：外国語講座を行っている。地域の子供も達が観光の現場を身近に体験して、将来の観光人材としての育成という事業など若い世代の観光人材育成にも取り組みたい。

委員：他にもクルーズ船客に向けて商工生が通訳案内をしたりしている

委員：島を離れた子供のリターン率はどれくらいですか。

委員：データとしては無いです。

委員：サイクルロードの整備を速めに進めるのはどうか。金沢や台北には好例がある。また、煙草のポイ捨て等を無くすだけでもかなり変わると思いますので、地域で対応する事はできないか？高知県のおもてなし課を参考にして出来ないか。

委員：プロモーション活動についてハーブフェスティバル用にキーマンを招聘して盛り上げる事に繋がらないか検討してもらいたい。USIO 事業について、小さなコミュニティーでワーキンググループを発足して、地域コミュニティーに面白がってもらって進めるのはどうですか。

・誘客プロモーションについて、11・1月のロードファクターは両キャリア・国内外とも低いキャリアと一緒に底上げを行ってはどうですか。

・韓国をターゲットにするなら韓国のインターネット検索サイト『Naver』と調整してみようか。

事務局：石垣市観光交流協会が、欧州向けに SUP のプロモーションを計画している。
国際線誘致事業で行くと、台北、韓国の航空便が定着する事ができたならトランジットで
欧米客が入ってくるという期待もあります。

委員：成田に入ってくる観光客が多いので、国の施策としては国内線 1 万円という政策が
あるので、そこに向けたプロモーションを行ってもよいのでは？

委員：空港案内所の窓口に来る観光客も台湾欧米客が多い。インターネットでも発信して
ほしい。

事務局：韓国の冬場は寒いので沖縄に来ている観光客が多いです。
新空港も夏は混んでいるけど、冬はあまり飛行機が飛んでいないという状況ですので、
避寒地として冬場の定期便を視野に入れていきます。

委員：韓国に対してのルートは作らないといけませんね。

以上。